

慶應SDM開設10年記念公開講座

入場無料

経営・財務のストーリー性とシステムデザイン

— 企業経営の本質と継続の条件 —

〈ゲストスピーカー〉

吉田篤生会計事務所 所長

SDM研究所 顧問

(前 SDM特別招聘教授)

吉田 篤生 氏

定員200名

事前登録制

定員になり次第、受付を終了いたします

2018年7月6日(金)

19:00~20:30 (18:30開場)

慶應義塾大学日吉キャンパス 独立館DB201教室

モデレータ:
SDM教授 当麻哲哉



〈プロフィール〉

1947年10月神奈川県生まれ。1970年3月慶應義塾大学商学部卒。大学在学中に2ヶ月半にわたり、単身でロシアから欧州、中近東15ヶ国を周った経験から、商社へ入社予定だったが、目標としていた経営者への近道として税理士を目指す。1974年税理士登録。1975年吉田篤生会計事務所設立所長就任。税理士としての専門分野は事務所経営のベースにすぎないという考えに基づき、経営コンサルティング、事業再生、事業承継等、企業を取りまく様々な問題に対し常に経営者に寄り添い、その解決に取り組んできた。顧客との対話を重視するため拡大戦略はとらずに、現在330社余のクライアントに対してきめ細かなサービスを提供している。2011年4月よりSDM特別招聘教授として7年間、「経営・財務戦略論」担当。2018年4月よりSDM研究所顧問就任。

〈講演概要〉

現在世界が置かれている状況は、500年前の大航海時代にも似た大転換期にあります。産業革命によってもたらされた技術革新と産業化の急速な進歩は、金融技術の革新によって本来の資本主義から逸脱し、果てしない欲望の拡大という社会問題を引き起こしています。経済とは、常に相互に作用する人間と社会組織から成り立っている生きたシステムであり、お金を生産や流通プロセスを測る唯一の変数として用いるのではなく、自然界のデザインである流動性に目を向けるべきだと考えます。経営も財務も全て“人”が中心となって動いており、そこには人間と人間が織りなす様々なストーリーがあります。経営の目的を拡大再生産と利益追求に置く伝統的マネジメントは、一人ひとりの個を大切にする「調和と協調」を目指す新しい社会においては通用しなくなってきます。こうした時代における「企業経営の本質と継続の条件」を探ってみたいと思います。



SDM
System Design and Management

お申し込み: 慶應SDMホームページよりご登録ください。

※申し込み多数の場合は抽選といたします。当選者のe-mailアドレスに参加票をお送りしますので、アドレスの入力間違いにご注意ください。

お問い合わせ先: 慶應義塾大学日吉学生部 大学院担当
Phone: 045-564-2518